

今がんばっています 松ヶ崎小学校

1 遠隔教育への挑戦

今年度、松ヶ崎小学校は遠隔教育の実証校となり、ICT（情報通信技術）を活用して他校との交流や合同授業に取り組んでいます。

金井小学校との交流では、児童の様子が映し出されると、子どもたちは画面にくぎ付けとなり、歓声を上げ、自己紹介やゲームを楽しみました。

10月から本格的に合同授業を開始し、算数や道徳などの教科学習も行っています。また、長崎県の学校とも総合的な学習で交流する予定です。ICTを活用して伝える楽しさを満喫し、コミュニケーション能力を育てています。



つながった画面を見て大喜び！

2 ふれ愛クラブ活動が誕生

今年度は8人でのクラブ活動となり、「少なすぎる、どうしよう」ということで、「地域の方を巻き込んで100人呼ぶ」プロジェクトを立ち上げました。子どもたちがテーマを決め、主体的に計画や案内、準備、運営を行い、地域の方との交流の場を広げていきます。これまで、卓球、百人一首、オセロ、虫探しの旅、ドッジボールなどを企画しました。参加された方からは「楽しかった」「また来たい」という声が聞かれました。目指せ100人！



大人も交えて虫探しに夢中♪

教育委員会学校教育課

58-7351



世界遺産登録に向けて

鉾山町あいかわ・下町散策⑧

鉾山町相川は、標高約300mの山地から海成段丘を経て、狭い海岸低地が続く地形上に立地しています。16世紀末になると、相川で金銀鉾脈が発見されたことにより、急速に町が形成されていきました。

上町台地には大工町などの職業別の町立てが行われ、17世紀前半には海岸沿いの下町でも町立てが行われました。その後、上町と下町をつなぐ坂道や石段等が整備され、多くの坂道がある点も相川の特徴の1つです。

相川の坂道には、長坂、西坂、新西坂、紋兵衛坂、巖常寺坂などがあり、国選定「佐渡相川の鉾山及び鉾山町の文化的景観」の重要な構成要素にも含まれています。

長坂は、下町の相川塩屋町と上町の相川味噌屋町を結ぶ坂道で、正徳3（1713）年に籠坂から現在の「長坂」へ改称しました。この長坂には、陣屋（のちの佐渡奉行所）や村々の寺社建築に携わった「長坂番匠（宮大工）」たちが住んでいました。

西坂は、下町の相川長坂町と上町

相川の坂道 長坂と西坂

の相川米屋町を結ぶ坂道で、市の史跡に指定されています。この坂は、享保4（1719）年の開設から翌年まで「七軒坂」と呼ばれ、もともと坂の上に佐渡奉行所の役屋（官舎）7棟があり、「七軒屋」と称されていたことが由来とされています。



現在の「長坂」の風景

世界遺産推進課

63-5136